

ごみ減量大作戦

～続行中～

No. 28

連絡先 エコけん事務局 ☎ 092-943-0129

発行責任者 清水佳香

プラスチック回収は

12/9 (日)

1/13 (日) * 第2日曜日

舞の里1丁目集会所

8:30～10:00

◎ 開始時間厳守に ご協力下さい。

舞の里小学校玄関前

9:00～11:00

※ 雨天：集会所内、舞小体育館にて回収。

水分は厳禁・汚れとシールは取り除いて出して下さい。

11月11日 (日) プラスチック回収報告

ご協力ありがとうございました。

参加世帯数						回収量	カンパ
286						70ふくろ (545.9kg)	19,353 円
1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	その他(%)		* 搬入用軽トラック代
21	7	6	19	27	20		4,000 円

意外な量にびっくり!? エコけん回収プラ

(g/世帯・月)

① 発砲スチロール (白・色トレイ含む)	66
② ペットボトル	110
③ エコけん回収プラ	2,548

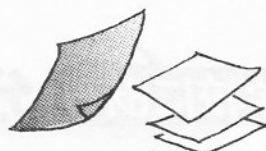
1カ月の1世帯あたりの回収量を比較してみました。

かさばるプラを、手間をかけたつづ保管し、回収に協力して下さい。皆様に感謝します。

① ② 古賀市分別回収品 (参考資料：広報古賀8月号)



コピー用紙のほどよい白さについて



～白色度とコスト～

種類	白色度	コスト(比)
天然パルプ	80	100
再生紙	80	101
	70 (エコけんニュースの白さ)	92
(参考)新聞紙	55	—

(参考：日経新聞 2001.10.24.『春秋』)

お勧めの白さのコピー用紙はおもに事業用や公共機関に納入されていて、手に入る店舗は限られています。消費者である私たちが、気軽に選べるようどこのお店にも白色度70のコピー用紙が、置いてあればいいと思います。

エコけんお勧めの白さのコピー用紙が買えるお店をご存じの方は、ぜひ、情報をお寄せ下さい。

白色度70の再生紙

が手に入るお店

- ・ナフコ宗像店
- ・ブックジョイたまおき宗像店

剪定枝堆肥化支援部会より (1)



腐葉土ができました。

剪定枝や草の堆肥化を、手探り状態で始めて1年が経ちました。(No.15号記載)

今回、2回目を取り出しましたが、1回目の不出来の原因と思われることを改めた結果、割とうまく腐葉土になりました。

剪定枝をお持ち下さった方は、現地からピンクの袋をひとつずつお持ち帰り下さい。なお、余った分はプラ回収のフリーマーケットでご紹介したいと思います。

現在、堆肥化ボックスが空いておりますので、投入ご希望の方は、事務局まで連絡をお願いします。



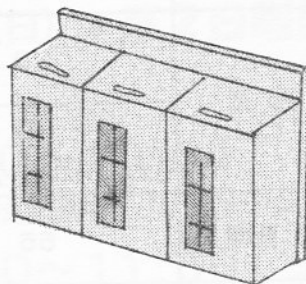
次号で、家庭で簡単にできる腐葉土づくりについてご紹介します。お楽しみに。

学校にある 分別ボックスを利用しませんか！



家庭での分別がうまくなってくると、頭を悩ますのが分別したものの収納場所。トレーはここ、ペットボトルはあっち、プラスチックは棚の上 ... 知らず知らずのうちにたまって、台所はまるで物置に。なんてことはありませんか。子ども達に協力してもらいたい手があります。

現在、市内の全小・中学校に、分別ボックスが設置してあるのをご存じですか？



白トレー・牛乳パック・ペットボトル、3つの回収箱が下駄箱近くに並んでいるはずですが。回収物は、子ども達が持ってくるのが条件で、去年から小学校を手始めに、今年は中学校にも設置されました。毎週1回シルバー人材センターの方が回収に来られています。

ところが、残念なことにより活用されていない学校もあるようです。保護者に知られていないこともあります。が、「わざわざ子ども達に持たせなくても。」という声も聞かれます。しかし、これからの社会をになうのは子ども達です。環境を守る行動のきっかけと考えるといかがでしょうか。

そしてもちろん、回収物は『ごみ』ではなく、『資源』です。リサイクルできる状態について話し合ってみるのもいいですね。



その他、以下の公共機関にも3つの分別ボックスが設置してあります。お出かけのついでなど、ご利用されてはいかがでしょうか。「じゃまになるから、すてちゃおう。」となる前に。

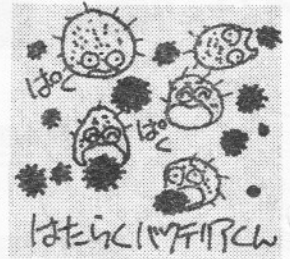
市役所・サンコスモ・千鳥苑・中央公民館・JR古賀駅コミュニティホール

水物語

半年に及ぶ連載中に頂戴しましたご意見やご感想を織り交ぜながら、古賀市の水物語を模索したいと思います。

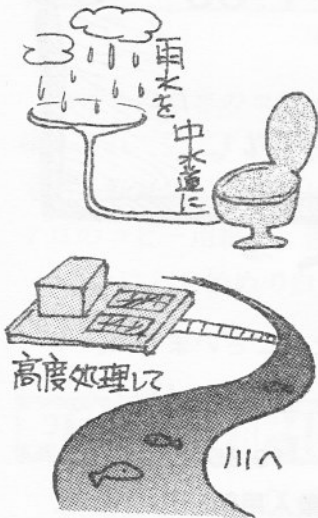
まず、台所の排水に始まりました水質の問題です。河川の自然浄化作用はもちろんのこと公共下水道等の施設においても、最終処理はバクテリアに頼っており、私たち住民はその負荷を小さくするために排水には気を配らなければなりません。

では水量についてはどうでしょう。リサイクルについて考えた際、限りある化石資源と地球規模では閉鎖循環の水と述べましたが、今後地球温暖化や水循環の偏りにより、水(淡水)の絶対量が不足していくことは避けられません。さらに人口の集中による水需要も増加し続けるでしょう。



その解決策のひとつとして多目的ダムの建設がありますが、自然や生態系を破壊し、膨大なコストに見合う成果は保障されず、なおかつ寿命(50~100年)のある人工のダムが最良の策であるとは思われません。

水量を確保するために雨水を含めた中水道を利用したり、膨大な下水道処理水を高度処理し河川に戻す新しい循環を作っている街もあります。前者はかつての水資源に恵まれ、最高の水道水を所望する日本人の意識を変えるきっかけになり、後者は河川の水量が適度に増えることで自然の蛇行力や水際生物が元氣を取り戻し、ひいては浄化作用の向上にも期待できると思われれます。



私は10年前当地を故郷にと移り住んで参りました。目の前に広がる森林や農地は長い間に育まれた地下水を抱く緑のダムです。そしてこの限りある水資源を守るのは、やはり節水を始めとする私たちの生き方なのです。新しい故郷の山々や水に感謝の念を忘れないよう、日々の暮らし方を見つめていこうと思います。

あいママ



~事務員より~



【次回定例会】12月12日(水) 10:00~13:00 古賀市 舞の里5丁目集会所

(財)省エネルギーセンターの省エネルギー地域活動支援事業の支援を受けて作成したものです。(半額)